

国政でも市政でも
市民の声を代弁する

日本共産党を2議席に

市長提出重要議案に日本共産党以外すべて賛成の議会ではないのでしょうか

明星寺地区の産廃 処理施設反対 住民の身近な相談相手 日本共産党元職

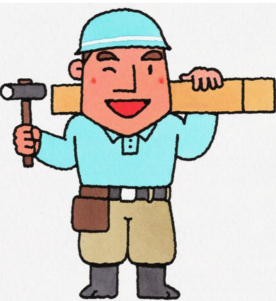
産廃処理施設を住民が力をあわせてくいとめています。(写真)住民に見えにくい複雑な事実を、情報公開条例などで明らかにしてもらい、ほんとうに助かります。行政手続きなど、なれないことが多いなかで、頼りになる身近な相談相手です。

住民に見えにくい複雑な事実を明らかにできる

潤野上区 川崎太賀志



JR愛宕踏切が改善へ
市の間 80代男性
狭くて危険な踏切を広げる工事が夏から始まります。13年前からの地元要望を取上げた市議会での質問、JR九州との交渉が実りましたね。粘り強い行動力は頼りになります。



●商店リフォーム 助成制度の創設

「リフォームしたくても、不況で苦しくてできない」という商店の方もおられます。商店のリフォームにも使える制度ができれば、地元の中小建設業の仕事づくりになります。

●生活密着型の公共事業で仕事増

水害対策や生活道路は後回しに大型事業優先では、地元にお金が落ちません。保育所や学校改修など地元密着の工事で地元業者の仕事を増やします。農業も地産地消を促進。

●高すぎる国保税引き下げを

「高すぎて払えない」「払える金額にして」という声が切実です。保険証を取上げられ、病院にかかれぬ人がふえています。市には238億円のため込み金もあり、国保税引下げを真剣に進めるべきです。

●必要なとき安心の介護を

飯塚市を子育てしやすいまちにしましょう。安倍政権の暴走のままに「保険あつて介護なし」にしてはなりません。必要なときに安心して介護が受けられる飯塚市にするため、力をつくします。

日本共産党元職は くらし応援へ 提案します

消費増税など大金持ち・大企業優遇のため、国民に犠牲を押し付けるのが自民党安倍政権です。
飯塚市議会は、日本共産党の1名以外の議員が市長の提案する重要議案にはすべて賛成の「オール与党」です。
昨年、国保税を平均25%引き上げたのも、市民の負担する使用料などに4月から消費税分の値上げを決めたのも「オール与党」でした。
参議院選挙後、「自共対決」で時代が動き始めました。日本共産党が1から2議席に躍進するかどうか、最大の焦点となっています。

市がため
込んだ238億円
お金はあるのに

「行財政改革」といって行政サービスを削ってチビチビためこみ、市役所新築など大型事業にどっとつぎ込むのはダメ。ムダづかいやめ、住民のくらしの応援こそ急ぐときです。



ありがたい
住宅リフォーム助成

片島 建築業者

すべての子どもに保険証

相田 土木職人

国民健康保険証をもらえないときがあつて、「子どもが病気になる不安」と相談しました。「すべての子どもに保険証を」と市議会でも質問し、実現させたがんばりはすごい。